平成24年 3月28日 開会

平成24年 3月28日 閉会

平成24年第2回鮫川村議会会議録

東白川郡鮫川村議会

平成24年第2回鮫川村議会臨時会会議録目次

第1号（3月28日）

議事日程	1
本日の会議に付した事件	2
出席議員	2
欠席議員	2
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	2
職務のため出席した者の職氏名	2
開会の宣告	3
開議の宣告	3
議事日程の報告	3
諸般の報告	3
会議録署名議員の指名	3
会期の決定	4
議案第38号の上程、説明、質疑、討論、採決	4
議案第39号～議案第46号の上程、説明、質疑、討論、採決	9
議案第47号の上程、説明、質疑、討論、採決	20
閉会の宣告	22
署名議員	23

第 2 回 臨 時 村 議 会

(第 1 号)

平成24年第2回鮫川村議会臨時会

議事日程(第1号)

平成24年3月28日(水曜日)午前10時開会

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 議案第38号 鮫川村原子力災害放射能汚染対策粗飼料安定供給基金条例
提案理由説明・質疑・討論・採決
- 日程第 4 議案第39号 平成23年度鮫川村一般会計補正予算(第8号)
提案理由説明・質疑・討論・採決
- 日程第 5 議案第40号 平成23年度鮫川村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
提案理由説明・質疑・討論・採決
- 日程第 6 議案第41号 平成23年度鮫川村簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)
提案理由説明・質疑・討論・採決
- 日程第 7 議案第42号 平成23年度鮫川村村営バス事業特別会計補正予算(第4号)
提案理由説明・質疑・討論・採決
- 日程第 8 議案第43号 平成23年度鮫川村集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
提案理由説明・質疑・討論・採決
- 日程第 9 議案第44号 平成23年度鮫川村介護保険特別会計補正予算(第4号)
提案理由説明・質疑・討論・採決
- 日程第10 議案第45号 平成23年度鮫川村交流施設特別会計補正予算(第3号)
提案理由説明・質疑・討論・採決
- 日程第11 議案第46号 平成23年度鮫川村学校給食センター特別会計補正予算(第5号)
提案理由説明・質疑・討論・採決
- 日程第12 議案第47号 工事請負契約の締結について
提案理由説明・質疑・討論・採決

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（12名）

1番	岡部明君	2番	宗田雅之君
3番	前田雅秀君	5番	湯坐良政君
6番	蛭田武彦君	7番	星一彌君
8番	関根政雄君	9番	山形郁夫君
10番	早川正博君	11番	前田武久君
12番	坂本忠雄君	13番	前田三郎君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

村長	大樂勝弘君	副村長	白坂利幸君
教育長	奥貫洋君	総務課長	鈴木治男君
企画調整課長	芳賀亨君	住民福祉課長	佐藤文夫君
農林課長	森洋君	地域整備課長	近藤保弘君
教育課長	北條利雄君		

職務のため出席した者の職氏名

議事局長	本郷秀季	書記	渡邊敬
------	------	----	-----

◎開会の宣告

○議長（前田三郎君） ただいまの出席議員は12人です。定足数に達していますので、ただいまから平成24年第2回鮫川村議会臨時会を開会します。

（午前10時00分）

◎開議の宣告

○議長（前田三郎君） これから本日の会議を開きます。

◎議事日程の報告

○議長（前田三郎君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

◎諸般の報告

○議長（前田三郎君） 日程に入るに先立ち、諸般の報告を事務局長にさせます。

事務局長、本郷秀季君。

○議会事務局長（本郷秀季君） 諸般の報告をいたします。

議案第38号から議案第47号までの10議案が村長より提出され、本日議長において受理しました。

本議会に村長及び教育委員会教育長に出席を求めました。

村監査委員より、例月出納検査結果の報告がありましたので、その写しを配付してあります。

次に、出張関係であります。

3月22日、福島県白河地方・会津地方原子力損害賠償対策本部による第2回東京電力との交渉活動のため議長が福島市に、3月27日、県南地方市町村長、議長会議のため議長が白河市に出張いたしました。

以上であります。

○議長（前田三郎君） これで諸般の報告は終わります。

◎会議録署名議員の指名

○議長（前田三郎君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、

3番 前田雅秀君 及び

5番 湯坐良政君

を指名します。

◎会期の決定

○議長（前田三郎君） 日程第2、会期の決定の件についてを議題といたします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日間としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（前田三郎君） 異議なしと認めます。

したがって、本臨時会の会期は本日1日間と決定いたしました。

◎議案第38号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（前田三郎君） 日程第3、議案第38号 鮫川村原子力災害放射能汚染対策粗飼料安定供給基金条例を議題といたします。

事務局長に議案の朗読をさせます。

事務局長、本郷秀季君。

〔議会議務局長朗読〕

○議長（前田三郎君） 本案について、提案理由の説明を求めます。

村長、大樂勝弘君。

〔村長 大樂勝弘君 登壇〕

○村長（大樂勝弘君） 皆さん、おはようございます。

提案理由の説明を申し上げる前に、皆さん大変気がかりな原子力の損害賠償の問題が、けさの新聞にも載ったと思います。これは皆さんご承知のとおり、国が文部科学省の原子力損害賠償紛争審査会の意見書が、中間方針のお話が12月6日に出されました。このときも線引きにあいました26の市町村、これが数回東電に、12月25日から始まりまして、月1回の要望活動で、先月の3月22日です、東電側から回答がありました。その回答は私ら予想もなかった回答でありました。

県南地区にだけ、子供にだけ、18歳未満の子供に20万円をお支払いします、そのほかは会

津地方は子供も大人もなし、18歳以上の人にはお支払いなし、もちろん県南地方もなしということで、20万円だけということだったものですから、とんでもない話だということで、その話し合いは成立しませんでした。そういったことで県が今度、和解、調停に入ったんですね、この地域間の差を埋める提案がありました。おとといでした。事務局の白河が職員2人できまして、私と議長さんが一緒に説明を受けましたが、こういった提案でした。

まず、子供たちには20万円のほかに、県が国からの原子力の災害応急基金がございまして、403億円でした。そのほかに3月22日に東電がこの基金に30億円を寄附したいというお話があって、この433億円を使って県南地区に、会津地方にお支払いをしたい、これはまだ議会は通っていないそうです。知事のサイドで、まだ議会は通っていないから内々の話ですが、こういったことで皆さん方のお話を承りたい、こういった話で、私はそういった話がありましたけれども、前にも申し上げていたとおり、私は今県南地方、会津地方一緒になっているのが一律に、県を二分することなく40万円と8万円だと、これを目標に、そしてこれから先30年、40年この放射能との戦いが続くわけですから、こういった簡単にそれは返事するわけにはいかないと、きょうは持ち帰ってくれということであっせん案はお断りしました。

それで次の日皆さんと一緒に、県南は県南だけで集まりをもって話し合いをするということできのう集まりました。白河の広域の事務所です。県南地方だけで集まった席でいろいろな意見が出ました。ですが大方の意見が、いやこれは県がそういった配慮があったんだからこの際すぐにのって、差し当たり仮払いということで住民には説明しよう、私なんか意見を出したんですが、まずは銀行に行ってみたらもう、東邦銀行浅川支店です。皆さんに100万円、200万円単位で送金になっているそうです。ですがそんなことを聞きますと、やはり隣接している皆さんはそろそろ興奮してきました。

そういったことで、少しでも1万でもいいから差し当たって支払いがあればいいなという思いで、まず今回の県のそういった配慮をのんで、そしてまたこれは継続、やっぱり線引きすることなく8万円と40万円は東電に引き続き要望活動をやろうと、そういう条件ならば、この際この件の配慮にのっかってもいいんじゃないかと、そういう提案をさせていただきました。そういったことで、そういう方向で今、県南地方は動いています。

ただ、1町村がどうしてもこんなわけにいかない、おらは最初から県を二分するようなことがないようにということでお願いしてきたんだから聞くわけにはいかないということで、きょう臨時議会を開くそうです。この1町村だけが残りまして、あと東白川郡は埜と矢祭がやっぱり電力のお話を大体了解したということでした。私も電話で確認しました。ですが、

会議の席上でそういった意見も出して、今言ったような形で進んでいるところです。あした議長さんと一緒に福島に午後から行ってきます。それで26の市町村長さん方の意見を集約してこの方向を決めたいという県の思いだそうです。そういったことで村では私が今申し上げたような姿勢で、仮払いということで了解しようという形で今進んでおりますことをご報告申し上げます。

それでは、議案第38号 鮫川村原子力災害放射能汚染対策粗飼料安定供給基金条例についてご説明を申し上げます。

これは2月3日付、農林水産省消費・安全局長、生産局長連名による通達により、牛の飼料に含まれる放射性セシウムの暫定許容値が4月から飼育牛、乳用牛が1キロ当たり300ベクレルから100ベクレルに、繁殖牛が3,000ベクレルから100ベクレルに一気に引き下げられることになりました。

一方、村内の放射性セシウムによる飼料の汚染状況から見ても、これまで給餌していた、食べさせていた牧草等の飼料が与えられないということになります。また、ことしの牧草、あるいは放牧も厳しい状況になるものと予想され、零細な畜産農家が多い本村の現状を考えますと、飼育を廃業する農家が続出するのではないかと懸念されるものであります。

このようなことから、本村の基幹産業である畜産農家を守るため、緊急対策として粗飼料を村で購入し、畜産農家に粗飼料の支給を行う事業であります。

今回の支給対象となるのは145戸の畜産農家、おおよそ1,050頭の頭数であります。それに酪農家からも要望がございました。酪農家約300頭を対象として4月から乾草を供給する計画であります。

今回、本事業を実施するために1億円の基金を創設し、その購入費用に充てるものであります。本事業に要しました費用につきましては、3カ月ごとに村から東京電力に対して損害賠償請求を行ってまいります。ですから、えさ代はすべて東京電力の賠償対象となるわけがあります。

以上で、議案第38号の提案理由の説明とさせていただきます。原案に賛同賜りますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長（前田三郎君） これから質疑を行います。

11番、前田君。

○11番（前田武久君） 質疑の前にちょっと村長に、今口頭であいさつされた中で1町村と言ったね、納得できないというか臨時議会を開いて決めるというのは、1町村というのは2

自治体ということですか。

○村長（大樂勝弘君） 1町村。

○11番（前田武久君） 町、村って入っているから。

○村長（大樂勝弘君） なるほど1村です。鮫川村ではありません。

○11番（前田武久君） では、質疑に入ります。

前に我々が了解してこの飼料等についての便宜を図ろうということで進めていただいたわけなんですけれども、まことに畜産農家に対しては好評で喜ばれておるといふふうに聞いておりますし、ただ前に5キロくらいというような数量を我々に提示されていたと思うので、7キロくらいになったみたいなんですけれども、その辺。

○議長（前田三郎君） 村長。

○村長（大樂勝弘君） 11番、前田議員の5キロが7キロに変更になったのはどういうことかという、実はこの事業が始まる前に10戸の農家のモニタリングをランダムに行いました。そのときのお話ですと、10軒とも遠慮したのかね、1頭当たり5キロであれば間に合うでしょうと、そういうお話でした。

ですが24日に説明会を行いました。畜産農家の放射能と農業についての説明会の席でした。ある農家から村長、この5キロというのはどういうことだ、牛は1頭7キロから8キロ食べるんですよ、残りの分は個人で損害賠償請求になるんですかというお話がありました。こういったことで皆さんにお聞きしましたところ、やっぱり7キロから8キロはそれは当然食べますよということでした。そういったことで、皆さんに厄介をかけるのは二重な手間になるものですから、じゃ十分間に合うように7キロということで、2キロ追加をさせていただきました。

ですから、大変えさの供給が私は容易でない、えさの手配ですね、問屋に手配が容易でない、1,050頭には大体トレーラーで7台必要だということですね、1カ月。ですから相当な、7台というと200トン近くだということなんです。それが今度は2キロふやすことによって9台必要になったんですね。ですから、恐らく3月中にはちょっと間に合わないんですけれども、4月の半ばごろには残りの2台も何とか支給できるそうです。

そういうことで、すべて皆さんには間に合うような、支給には間に合うような、給餌には間に合うということですかという態勢は整いました。25トンのトレーラーで9台確保して、毎月、12月いっぱい畜産農家に供給という計画をさせていただきました。

○議長（前田三郎君） ほかに質疑はありませんか。

5番、湯坐君。

○5番（湯坐良政君）　きのう、おとといですか、村長も鹿角平のほうに行って、1台目の草が入ったということでご報告いただきまして、フォークリフトを持ちながら2台かかってしまふんだと、横浜からの予想だと思うんですが、あの時点では西山地区だけで処理したと言ひ伝えられましたが、その後、4月1日からの青生野地区とかいろいろな地区の飼料の草の配分はどのように、間に合うんでしょうね、4月1日の期限。

○議長（前田三郎君）　村長。

○村長（大樂勝弘君）　5番、湯坐良政議員の給餌に間に合うのかというおただしであります。今、26日に本当はもう着いているんですね、横浜埠頭に船は入っているそうです。これの今度は検査があるんですね。その検査がスムーズに行く場合とそうでない場合があるそうです。3日ぐらいかかるときもあるそうです。ですから2回目の配送は28日以降、2台か3台入ってきます。あとは来月早々にもまた入ってきます。

こういったことで、どうして西山、西野地区を早目にしたかという、青生野地区は放牧が盛なんですね、ですから自給力もあるんですよ。ただそれでは差別化しますから、当然配布するようになるんですけれども、遅くとも4月9日には入ります。そういったことですべての農家に間に合うようになります。どうしても青生野地区の皆さんでも必要な場合には西山地区から一応お借りしてもいいと、西山地区には1カ月分ですから多い人は100袋ぐらい、100袋というと27キロですから、3トン近くです、これを配送しましたから。そういったことで対応していきたいと思ひます。

○5番（湯坐良政君）　了解です。

○議長（前田三郎君）　ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（前田三郎君）　これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（前田三郎君）　討論なしと認めます。

これから、議案第38号　鮫川村原子力災害放射能汚染対策粗飼料安定供給基金条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願ひます。

〔賛成者起立〕

○議長（前田三郎君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第39号～議案第46号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（前田三郎君） 日程第4、議案第39号 平成23年度鮫川村一般会計補正予算（第8号）から日程第11、議案第46号 平成23年度鮫川村学校給食センター特別会計補正予算（第5号）までの8議案を一括議題といたします。

事務局長に議案の朗読をさせます。

事務局長、本郷秀季君。

〔議会議務局長朗読〕

○議長（前田三郎君） 本案について、提案理由の説明を求めます。

村長、大樂勝弘君。

〔村長 大樂勝弘君 登壇〕

○村長（大樂勝弘君） それでは、議案第39号から議案第46号までの8議案につきまして、ご説明を申し上げます。

初めに、議案第39号 平成23年度鮫川村一般会計補正予算（第8号）について説明を申し上げます。

議案書の4ページから7ページと、事項別明細書の1ページをごらん願います。

補正前の予算額43億1,897万8,000円に対しまして、今回、1,269万9,000円を減額し、補正後の予算総額を43億627万9,000円とするものであります。

補正の主なものですが、事項別明細書の3ページをごらんください。

1款村税、1目個人村民税は800万円の増額補正です。今回の補正により、個人村民税の歳入見込み額が8,844万2,000円となります。22年度対比では、おおよそ200万円の増額となるものであります。次に、2目法人村民税は834万円の増額です。補正後の予算額は1,857万7,000円となります。前年度対比で245万5,000円のこれも増額の見込みであります。

次に、2項1目固定資産税ですが、608万4,000円の増額見込みで、前年度対比137万7,000円の増額であります。

次に、4項1目たばこ税ですが、196万円の増額見込みであります。村税は景気動向を意識して、当初予算編成時にかたく見積もりましたが、震災特需や改築家屋の増加などにより税収が堅調に伸びたものであります。

事項別明細書 4 ページをごらんください。6 款地方消費税交付金は526万円の増額であります。

次に、7 款自動車取得税交付金は65万4,000円の増額であります。これは64万9,000円と5,000円を合わせまして65万4,000円であります。

9 款地方交付税ですが、特別交付税の最終交付額が3月23日に内示されたところであります。東日本大震災と原発事故被害対策を除きました特別交付税、いわゆる例年交付される特別交付税が1億6,035万3,000円と決定されたものであります。今回、予算計上額との差額1億1,035万3,000円を増額するものであります。今年度の決定額は、前年度対比で率にして6.2%、額にして931万3,000円の増額となっております。また、東日本大震災と原発事故対策事業に対して交付される震災復興特別交付税が今回6,574万2,000円追加され、総額で1億8,436万円となるものであります。

5 ページです。12款使用料及び手数料です。1 項 2 目 1 節児童福祉使用料の保育園使用料300万円の増額は、入園児の増加によるものであります。

次に、13款国庫支出金です。1 項 2 目災害復旧費国庫負担金の1 節公共土木施設災害復旧事業費の負担金512万2,000円の減額は、予算計上していた9カ所のうち6カ所を次年度実施としたため、減額するものであります。次年度に繰り越しました。2 節の公立文教施設災害復旧事業費の負担金1,799万7,000円の増額は、鮫小の校舎等の復旧事業費と鮫中の体育館のり面崩落復旧事業等が補助率増嵩対象事業に認定されたため、増額補正するものであります。

6 ページです。14款県支出金です。2 項県補助金の1 目総務費県補助金の1 節総務管理費補助金316万3,000円の減額は、赤坂西野・前折戸地内に整備した携帯電話等エリア整備事業が計画により減額となったため、補正するものであります。これは供用開始になりました。二、三日前に開始になったようです。2 目民生費補助金の1 節社会福祉費補助金の重度心身障害者医療費補助事業費136万7,000円の減額は、人工透析などの医療費が見込みより下回るため、減額するものであります。

次に、7 ページをごらん願います。17款繰入金です。2 項 1 目 1 節財政調整基金繰入金1億4,799万9,000円の減額は、基金を取り崩して各種事業に充当していたものを、今回、全額戻し入れするものであります。今回の戻し入れにより、今年度財政調整基金の繰り入れは一切なくなるものであります。今年度の財政調整基金残高見込みは、前年度対比7,027万6,000円増額の8億6,676万4,000円となる見込みであります。

8 ページをごらん願います。17款繰入金の7 目 1 節教育施設整備基金繰入金ですが、今回、

610万1,000円を戻し入れするものであります。

9ページです。20款村債です。議案書9ページ、第3表、地方債補正とあわせてごらんください。議案書の9ページです。今回の補正は、1目辺地対策事業債が120万円の減額です。これは前折戸地内に整備した移動通信用基地局施設整備事業債が事業費の確定により減額するものであります。

次に、2目1節過疎対策事業債470万円の減額ですが、これは県営事業ふるさと林道緊急整備事業で実施している酒垂宝木線の改良舗装事業費の確定による減額であります。また、過疎債のいわゆるソフト枠であります過疎地域自立促進特別事業債の対象事業内のうち、大豆生産奨励事業と通学定期券購入補助金が当初の計画より減額によるため、補正するものであります。

4目1節公営住宅建設事業債510万円の減額は、広畑団地建てかえ事業費の確定による補正であります。

次に、災害復旧事業債ですが、今回事業費の財源として特別交付税や国庫負担金など措置されたことにより、起債発行が制限されるのが主な理由であります。なお、起債の方法、利率、償還の方法につきましては、補正前と同じであります。

事項別明細書の10ページをごらんください。歳出です。

2款の総務費、1目一般管理費、11節需用費の光熱水費21万6,000円は、電気料の値上げによる庁舎電気料の補正であります。修繕料28万2,000円は、庁舎のエアコン、印刷製本機などの修繕料であります。5目財産管理費の25節積立金6万9,000円は各種基金の利子積み立てであります。

次に、11ページです。6目企画費の12節役務費の手数料65万円の減額は、移動通信用鉄塔整備にかかわる用地の分筆登記の不要額45万円と、空き家住宅清掃手数料20万円の不用額であります。13節委託料111万5,000円の減額は、移動通信用鉄塔整備設計監理業務委託費の入札差額であります。15節工事請負費の移動通信用鉄塔施設建設工事費の210万円の減額は、工事費の確定によるものであります。

12ページです。3款民生費の1目社会福祉総務費、19節負担金、補助及び交付金の村社会福祉協議会活動費補助金187万8,000円の減額は、事業費の確定によるものであります。

2目老人福祉費、11節需用費の修繕料62万4,000円の減額は、ひだまり荘の電気設備修繕費の不用額であります。

13ページです。20節扶助費の老人保護措置費85万8,000円の減額は、施設入所者の減少に

よるものであります。在宅要介護高齢者紙おむつ給付費56万円の減額は、施設入所や入院により対象者が減少したためのものであります。

5目障害者福祉費、20節扶助費の重度心身障害者医療費273万3,000円の減額は、入院障害者の減少によるものであります。障害者自立支援給付費90万3,000円の減額は、支援形態の変更によるものであります。

次に14ページをごらんください。4目保育園費、3節職員手当等の50万円の減額は、扶養手当や超過勤務手当等の不用額であります。7節賃金63万9,000円の減額は、嘱託員賃金の不用額であります。11節需用費の給食材料費48万7,000円、保育材料費100万円の減額は、事業費の精査による不用額であります。

5目こどもセンター費、7節賃金60万円の減額は、人事異動によるものであります。

15ページをごらんください。4款衛生費です。1目保健衛生総務費、7節賃金61万円の減額は住民健診関係の不用額であります。

2目予防費、13節委託料の予防接種業務45万円の減額は、麻疹、風疹などの予防接種が見込みより減少したためのものであります。

4目環境衛生費、28節繰出金の簡易水道事業特別会計340万円の減額、集落排水事業特別会計100万円の減額は、事業費の確定によるものであります。

16ページをごらんください。6款農林水産業費です。5目畜産業費、7節賃金101万4,000円の減額は、人事配置の変更によるものであります。

17ページです。13節委託料の堆肥センター監理業務及び周辺植栽設計業務210万円の減額は、事業費の確定によるものであります。15節工事請負費の堆肥センター建築工事費760万円の減額は、工事費の確定によるものであります。16節原材料費65万円の減額は、原発事故放射能汚染による堆肥製造用落葉購入費の減額であります。18節備品購入費880万円の減額は、堆肥センター用ダンプカー、ホイールローダー、自走式堆肥散布機、チップパー・粉碎機、堆肥袋詰め装置などの入札差額による補正であります。

18ページをごらん願います。一番上、28節の繰出金の鮫川村原子力災害放射能汚染対策粗飼料安定供給基金1億円は、先ほどご承認いただきました基金条例を運用するための原資であります。なお、本基金を活用して供給した牧草代金につきましては、東京電力に全額賠償請求する考えであります。

次に、6目農地費、19節負担金、補助及び交付金の広域農道東白川地区負担金24万4,000円と東野中部地区農免農道整備事業53万3,000円の減額は、事業費の確定による減額であり

ます。

次に、8目農村交流施設費、28節繰出金の交流施設特別会計245万円は、交流施設運営費として繰り出すものであります。なお、この245万円は東京電力に損害賠償請求している原発の風評被害対策金の相当額であります。ただ、公益事業所は請求をちょっと待ってくださということで、一般の皆さんが優先で、公益事業所はちょっとおくらせてからの請求になります。

19ページをごらん願います。2項林業費、2目林業振興費の15節工事請負費の127万円の減額は、工事費の確定によるものであります。

20ページです。8款の土木費です。2項1目道路維持費の13節委託料です。除雪業務40万円の増額は、村内の建設会社に委託して実施した除雪費の補正です。橋梁長寿命化点検・修繕計画策定事業費124万2,000円の減額は、入札差額等による減額であります。村道・林道除草業務121万3,000円の減額は、緊急雇用対策事業と併用して実施したことによる不用額であります。

21ページをごらんください。3項住宅費、2目住宅建設費、15節工事請負費の941万3,000円の減額は、広畑団地建てかえ事業の各種工事費の確定による補正であります。

22ページをごらん願います。10款教育費です。1項教育総務費、2目事務局費、13節委託料のスクールバス運転業務53万2,000円の増額は、学校行事が当初計画より多く実施されたため補正するものであります。

24ページです。3項中学校費、3目語学指導費の9節旅費51万5,000円の減額は、語学指導助手を前年度から継続雇用できたため、帰国旅費などが不要になったものであります。

26ページをごらん願います。5項です。社会教育費、2目公民館費、11節需用費の修繕料27万1,000円の増額は、公民館の消防設備等の修繕費であります。

次に、4目図書館費、7節賃金70万円の減額は、臨時職員の雇用変更によるものであります。

27ページをごらんください。11款災害復旧費です。1項公共土木施設災害復旧費、1目現年度土木施設災害復旧費、15節工事請負費2,439万円の減額は、本年度施工した20カ所分の入札差額と、災害予算計上した6カ所分を次年度に施工としたことによるものであります。

28ページをごらんください。2項農林水産業施設災害復旧費、1目現年度農業施設災害復旧費、15節工事請負費の台風15号災農地等施設災害復旧工事58万1,000円の減額は、工事費の確定による補正であります。

29ページをごらんください。4項その他の公共施設・公用施設災害復旧費、15節工事請負費の旧鮫川小学校公園災害復旧工事235万円の減額は、工事を次年度に実施するため減額するものであります。繰り越しです。

次に、12款公債費、2目利子、23節償還金利子及び割引料831万円の減額は、借り入れ時点での利子が不確定のため、予算措置は利率を高目に設定していましたが、実際の利率がこれを下回ったため補正するものであります。

次に、議案書をちよつとごらんください。議案書の8ページです。繰越明許費の補正であります。これは農林水産業費の農業費、バイオマスヴィレッジ事業の補正であります。この補正は堆肥センターの設計監理の300万円と、袋詰め機の購入費用30万6,000円が増額になったための補正であります。議案書を終わります。

次に、33ページをごらんください。平成23年度鮫川村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）です。

今回の補正は事業勘定のみであります。補正前の予算額4億7,731万5,000円に対しまして、今回6万3,000円を減額し、補正後の予算額を4億7,725万2,000円とするものであります。

34ページをごらん願います。歳入は8款繰入金、1目の一般会計繰入金6万3,000円の減額であります。

次に、歳出です。1款総務費、1目一般管理費、3節職員手当等を17万円減額し、11款予備費を10万7,000円増額するものであります。

次に、37ページをごらんください。議案第41号 平成23年度鮫川村簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）です。補正前の予算額1億2,359万7,000円に対し、今回238万5,000円減額し、補正後の予算額を1億2,121万2,000円とするものであります。

38ページをごらん願います。歳入の主なものですが、1款分担金及び負担金、1目1節給水装置新設負担金の水道新規加入負担金21万5,000円の増額は、新規加入2件と、新設工事1件の増額です。

次に、4款繰入金、1目1節の一般会計繰入金340万円の減額です。

7款村債、1目1節の簡易水道事業債40万円の増額と、2目辺地対策事業債40万円の増額は、落合給水施設整備事業によるものであります。

39ページです。歳出です。1款総務費、1目一般管理費、27節公課費の73万7,000円の減額は、水道会計の消費税確定によるものであります。

2款施設費、2項施設整備費、1目水道未普及地域解消事業費、15節工事請負費89万

5,000円の減額は、落合地区の給水施設整備工事の工事費確定によるものであります。

44ページをごらんください。平成23年度鮫川村村営バス事業特別会計補正予算（第4号）です。補正前の予算額905万3,000円に対しまして、今回5万円を減額し、補正後の予算額を900万3,000円とするものであります。

45ページをごらん願います。歳入ですが、1款使用料及び手数料、1目総務費使用料、1節村営バス使用料は25万円の減額です。

3款繰入金、1目1節一般会計繰入金20万円の増額です。

歳出です。1款総務費、1項1目村営バス事業費、7節貸金5万円の減額は、嘱託員の賃金不用額であります。

46ページをごらんください。議案第43号 平成23年度鮫川村集落排水事業特別会計補正予算（第2号）です。補正前の予算額が3,240万5,000円に対しまして、今回83万2,000円を減額し、補正後の予算額を3,157万3,000円とするものであります。

47ページをごらん願います。歳入です。1款分担金及び負担金、1目1節農業集落排水事業負担金は、新規加入負担金が10万円の増額、宅内工事負担金15万円の減額であります。

2款使用料及び手数料、1目施設使用料、1節集落排水使用料は21万8,000円の増額。

3款1項1目1節の一般会計繰入金は100万円の減額です。

48ページ、歳出です。1款施設費、1項1目施設管理費、12節役務費の手数料31万5,000円の減額は、汚泥清掃回数の減、15節工事請負費15万円の減額は、集落排水宅内工事がなかったため減額するものであります。

49ページです。議案第44号 平成23年度鮫川村介護保険特別会計補正予算（第4号）です。補正前の予算額4億1,323万8,000円に対しまして、今回10万2,000円を減額し、補正後の予算額を4億1,313万6,000円とするものであります。

50ページをごらん願います。歳入、3款国庫支出金、2項国庫補助金、4目1節介護保険事業費補助金の5万2,000円の減額は、介護報酬改定による電算システム改修費補助金の減額であります。7款繰入金、1項1目一般会計繰入金、4節事務費繰入金5万3,000円の減額です。

51ページです。歳出です。2款保険給付費、1項介護サービス等諸費、1目居宅介護サービス給付費、19節負担金補助及び交付金34万1,000円の減額は、サービス利用者の減によるものであります。2項介護予防サービス等諸費、2目特例介護予防サービス給付費、19節負担金補助及び交付金18万円の増額は、ひだまり荘短期入所者生活介護利用者の増加によるも

のであります。

53ページです。議案第45号 平成23年度鮫川村交流施設特別会計補正予算（第3号）です。補正前の予算額1,629万2,000円に対しまして、今回451万4,000円を減額し、補正後の予算額を1,177万8,000円とするものであります。

54ページ、歳入です。1款使用料及び手数料、1目1節交流施設使用料は656万2,000円の減額です。

2款繰入金、1目1節一般会計繰入金は245万円の増額です。

なお、一般会計でもご説明申し上げましたが、現在風評被害を東京電力に請求中であります。これが納入され次第、補正としたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

55ページです。歳出です。1款総務費、1目一般管理費、7節賃金270万円の減額を初め、総額で451万4,000円の減額となっております。

56ページをごらんください。議案第46号 平成23年度鮫川村学校給食センター特別会計補正予算（第5号）です。補正前の予算額1億2,752万円に対しまして、今回40万円を減額し、補正後の予算額を1億2,712万円とするものであります。

57ページをごらん願います。歳入ですが、1款分担金及び負担金、1目古殿町負担金、1節運営費負担金25万6,000円の減額。2款繰入金、1項1目1節一般会計繰入金は14万4,000円の減額であります。

歳出です。1款総務費、1目一般管理費、13節委託料31万円の減額は、人材派遣業者に委託している給食調理業務費のこれは減額であります。

以上で、議案第39号から第46号までの8議案についての説明とさせていただきます。原案に賛同賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（前田三郎君） これから質疑を行います。

8番、関根君。

○8番（関根政雄君） 一般会計の補正予算の事項別明細書17ページであります。農林水産業費の委託料、また備品購入費の補正減の差額について質疑をいたします。

まず、委託料の堆肥センターの建築工事の監理業務の200万円ですか、この補正減、これは基本設計でないのですんな大きな金額じゃないかと思いますが、200万円も入札差額があったということですが、この予定価格と落札率はどのくらいなのか。

それともう一つは備品購入費の880万円の減、特にこの中でダンプ456万円の入札差額があるというところで、このダンプというのはどのような能力、新車なのか中古なのか、その差

額がちょっと多過ぎるのではないかという考えがあって質問しましたけれども、この入札差額の予定価格、それからダンプの能力、大きさ、中古なのか新車なのか、あわせて質問いたします。

○議長（前田三郎君） 村長に答弁を求めます。

村長。

○村長（大樂勝弘君） まず、委託料の堆肥センター建築工事監理業務200万円のご質問ですが、堆肥センターの設計委託料は1,300万円近くになっております。設計価格が1,300万円です。請け差のほうは、これはこの資料ではわからないんですけども、わかるかね。

調べて、それでは備品購入費のほうの880万円も、このほうも私の資料では予定価格しかありませんので、実際の購入価格をそれでは後日にお知らせいたします。後日じゃなくてきょうわかるよね。

〔「はい、わかります」と言う人あり〕

○議長（前田三郎君） じゃちょっと調べてきて。そういうことで終わらせていただきます。

○議長（前田三郎君） 8番、関根君。

○8番（関根政雄君） このダンプの450万円というのは、非常に大型ダンプというクラスなのかちょっとわかりませんが、2トン車ぐらいの規模を想定されているのか11トン車なのか、新車なのか中古なのか、この辺によってこれだけの差額があるものかないのかというご説明さえいただければご理解させていただくんですが。

○議長（前田三郎君） 村長。

○村長（大樂勝弘君） ダンプは3トンダンプを買う予定でおります。ですから、この450万円というのは当初の計画では……

それでは詳しくは担当課より説明を申し上げます。

○議長（前田三郎君） 農林課長。

○農林課長（森 洋君） 2トンダンプ、850万円の予算で計画をしておりましたが、結果といたしまして、3トンダンプのほうが使いやすいだろうということで3トンダンプにいたしました。契約額が393万7,500円ということで、当初の見積もりよりも相当、このたぐいのものにつきましては入札見積もり価格が減額されたという結果になったということでございます。一応新車ということで、なおこの辺は不明確な部分がありますので、後ほどお伝え申し上げますが、一応そういう結果で、競争見積もりの結果、そういう結果になったということでございます。

○議長（前田三郎君） 8番、関根君。

○8番（関根政雄君） そうすると、当初の2トンダンプの850万円というのは予算を読み過ぎたということなのか、それとも業者から850万円で2トンダンプという私の認識でも非常に特殊な機能を持っているものでないのかなど、実際300万円代で落札、契約しているということは、当初機能の高いもので、2トンから3トンに変えて、なおかつ値段が下がるというのはちょっと理解しがたいところもありますけれども、当初どのような機種というか、850万円の内容をかなり特殊な高い車両だと思いますけれども、この辺ちょっとお聞かせいただければと思います。

○議長（前田三郎君） 農林課長。

○農林課長（森 洋君） その辺の特殊性、基本的には計画見積もりを取って予算計上をさせていただいていますので、その辺の特殊性等々、精査をして後ほどお答え申し上げたいと思いますが、よろしくお願いいいたします。

○議長（前田三郎君） 8番、関根君、それでよろしいでしょうか。

11番、前田君。

○11番（前田武久君） 事項別明細書13ページの民生費、20節の扶助費ですけれども、先ほど説明では入所者減少によるものということでございます。それで当初はどのくらいの予算措置をしていたのか、それと大体何人ぐらいで、日数何人ぐらいになったのか、それをお聞かせください。

○議長（前田三郎君） 村長。

○村長（大樂勝弘君） 11番の前田議員の重度心身障害者医療費の273万3,000円の減額の内訳ではありますが、担当課より詳細に説明を申し上げます。

○議長（前田三郎君） 住民福祉課長。

○住民福祉課長（佐藤文夫君） 11番の前田議員のご質問にお答えいたします。

扶助費の老人保護措置費ですが、2名入所していた方が1名亡くなったということで減額になっております。

○議長（前田三郎君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（前田三郎君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（前田三郎君） 討論なしと認めます。

これから、議案第39号 平成23年度鮫川村一般会計補正予算（第8号）を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（前田三郎君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

これから、議案第40号 平成23年度鮫川村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（前田三郎君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

これから、議案第41号 平成23年度鮫川村簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（前田三郎君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

これから、議案第42号 平成23年度鮫川村村営バス事業特別会計補正予算（第4号）を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（前田三郎君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

これから、議案第43号 平成23年度鮫川村集体排水事業特別会計補正予算（第2号）を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（前田三郎君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

これから、議案第44号 平成23年度鮫川村介護保険特別会計補正予算（第4号）を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（前田三郎君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

これから、議案第45号 平成23年度鮫川村交流施設特別会計補正予算（第3号）を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（前田三郎君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

これから、議案第46号 平成23年度鮫川村学校給食センター特別会計補正予算（第5号）を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（前田三郎君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第47号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（前田三郎君） 日程第12、議案第47号 工事請負契約の締結についてを議題といたします。

事務局長に議案の朗読をさせます。

事務局長、本郷秀季君。

〔議会事務局長朗読〕

○議長（前田三郎君） 本案について、提案理由の説明を求めます。

村長、大樂勝弘君。

〔村長 大樂勝弘君 登壇〕

○村長（大樂勝弘君） それでは、議案第47号 工事請負契約の締結についてのご説明を申し上げます。

本件は、東日本大震災後に国の補正予算で措置されました消防防災施設・設備災害復旧補助事業と消防防災通信基盤整備補助事業を導入して整備する鮫川村防災行政デジタル無線整備工事の請負契約であります。

昨日、3月27日に指名競争入札を実施した結果、福島市本町5番地の5、日本電気株式会社福島支店が、設計価格5億5,902万6,000円に対しまして、入札金額5億2,000万円で落札したことにより、この金額に5%の消費税を含めました金額5億4,600万円で契約するため、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものであります。

なお、本件は次年度に繰り越して施工し、平成25年3月15日までに完成を期したいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いを申し上げます。

以上で、議案第47号についての説明させていただきます。原案にご賛同賜りますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長（前田三郎君） これから質疑を行います。

11番、前田君。

○11番（前田武久君） 指名業者数と落札回数。

○議長（前田三郎君） 村長。

○村長（大樂勝弘君） 11番、前田議員の指名業者数ですが、指名させていただきました業者は5つの業者です。入札回数は1回目で成立しました。

以上です。

○議長（前田三郎君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（前田三郎君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（前田三郎君） 討論なしと認めます。

これから、議案第47号 工事請負契約の締結についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（前田三郎君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

○議長（前田三郎君） 農林課長。

○農林課長（森 洋君） 先ほどの質問についてのお答えをしたいと思います。

一つは、堆肥センターの建築監理業務の減額の予定価格についてでございますが、まず当初予算では22年度の監理関係等を勘案して見積もったところでございますが、今年度、23年度につきましては、監理等々工事の内容が複雑性がないものでございますので、一応精査をした結果、設計額が369万7,000円という設計額になったということでございます。予定価格につきましてはの質問ですが、それに対しまして予定価格が315万円ということで、当初予定、見積もった予算よりも減額になったという経過でございます。

続きまして、ダンプトラックですが、先ほど大変失礼をいたしました。当初の見積もりが3トンのトラックの155馬力でクレーンつきのアームロールつきというトラックということで見積もりをした。この結果、約844万円ほどの見積もりが出てまいりました。最終的には、3トンダンプで先ほどのこの特殊性を除いたということで、それほどの性能は必要ないだろうという結果、3トンダンプの150馬力の競争見積もりを実施した結果、約411万3,000円ほどの見積もりが出てきたという結果で減額ということで、ご理解をいただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（前田三郎君） 以上の報告のとおりでございますけれども、よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

◎閉会の宣告

○議長（前田三郎君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

平成24年第2回鮫川村議会臨時会を閉会します。

ご苦労さまでした。

（午前11時16分）

上記会議次第は事務局長本郷秀季の記載したものであるが、
その内容に相違ないことを証するためここに署名する

平成24年3月28日

議 長 前 田 三 郎

署 名 議 員 前 田 雅 秀

署 名 議 員 湯 坐 良 政